



新明小だより

東松山市立新明小学校
学 校 だ よ り
5 月 号
令和 7 年 5 月 1 日



学校教育目標 やさしく・かしこく・元気よく

～ 新たな挑戦 明るい未来へ 希望あふれる新明小学校 ～ 校長 稲村 浩之

草木が一斉に芽吹き、新緑がまばゆい百花繚乱の季節となりました。正門で子供たちを迎えていると、どの子も、新しい出会いの中で、やる気に満ち溢れ、元気な声で「おはようございます」とあいさつをしてくれます。心もウキウキしてきます。

また、4月22日には「一年生を迎える会」を行いました。

運営委員を始め、6年生の児童が素敵な王冠を作って1年生にプレゼントしてくれました。王冠の裏には、1年生への温かな励ましの言葉や応援のメッセージが書かれていました。



【自分のできることに挑戦しよう

～ 世界で一番小さな「ハチドリ」のように ～ 】 5月お話集会より

世界で一番小さい鳥を知っていますか？

なんと全長6cm、皆さんの小指程度の長さで、名前は「ハチドリ」と言います。

今日は、このハチドリの一滴（ひとしずく）という南アメリカの先住民に伝わる話をします。

ある時、自分たちが住む森が燃えるという大きな火事が起こりました。多くの動物たちは、慌てふためいて逃げていきます。その中で、小さなくちばしに一滴の水をふくんで、森と川を行ったりきたりしている鳥がいました。

この鳥は、ハチドリです。このハチドリに向かって、逃げていく動物たちが「そんなことをして何の意味があるのか？火が消えるとでも思うのかい」と、口々に言い、あざ笑いました。

ハチドリは、こう答えます。

「今、自分ができていることをしているだけです」。

状況がどうであれ、周囲の人がどう言おうが、今、自分が必要だと信じて、自分がしなければならないことに一生懸命に取り組むことの大切さを教えてくれるお話です。

皆さんも、今年度の目標を立てたと思います。自分の目標にチャレンジを続けていく中では、人のことが気になったり、人と比べて落ち込んだりすることもあるでしょう。

でも、大切なことは、ハチドリのように、たとえ小さくても自分のできていることを続けることです。その挑戦は、自分にも、周囲にも大きな勇気と笑顔をもたらすことでしょう。

<校長室から> 6年生と会食会をスタート！



4月21日から、6年児童と校長室で会食会を始めました。給食を一緒にとりながら、今年度の目標や抱負を聞かせてもらいました。どの児童も、自分の夢や目標に向けて挑戦をしています。6年生の頑張りを応援していきたいと思います。